

祝辞 大津地区交通安全協会西原支部長 矢島國秋

河原小学校自転車部のみなさん、子ども自転車大津地区大会 40 連覇おめでとうございます。また、過去 41 回開催されたなかで、これまで優勝を飾ってこれ、輝かしい伝統を築いてこられた先輩方に対しても心よりお祝いを申し上げます。

この大会は、こどもたちに交通安全思想を普及させる目的で昭和 42 年から実施（県）されてきました。大津地区大会は昭和 44 年から開催され、河原小学校は昭和 45 年に初出場してから今大会まで連続で優勝されています。

この 40 年という長い間、一度も負けることなく熊本県大会へ駒を進められ、また全国大会にも 3 度出場されていますが、大津地区大会だけでも他地区より圧倒的に出場チームが多く、これを勝ち抜くことだけでもたいへんなご苦労があったことと思います。早くから練習に励み、精進されてきた結果であり、先生方のご指導や保護者の熱いご支援の賜物だと思います。交通安全協会西原支部としてもこどもたちが練習に一生懸命に励み、大会に平常心で臨んでもらえるよう応援をしてきたところです。我々、西原支部としても「誇り」に思っております。しかしながら、現在は道路事情も変化し、車社会となり、身の回りには危険がいっぱいです。これからのこどもたちの未来は、我々大人に重大な責任があると思います。身勝手な運転をしないよう、また、こどもたちに思いやりのある運転を心がけるよう肝に銘じておきたいものです。そして、こどもたちが元気で自転車に乗ったり、歩いたりできる環境を育てていくことが大切です。西原支部一同、これを機に再度、認識を新たにしてこどもたちのために活動をおこなっていきたくております。河原小学校のみなさんも自分の身体は、自分で守る気持ちで交通安全に取り組んでほしいと願っています。

最後に、この輝かしい伝統をいつまでも継承されることを願ってお祝いのことばとさせていただきます。

四十連覇記念誌発行によせて 記念誌発行委員長 東 厚

河原小学校自転車部大津地区大会、40 連覇おめでとうございます。時を遡る事 40 年前、私の同級生 2 名と 5 年生 3 名のチームによる、第 2 回交通安全子ども自転車大津地区大会に初出場・初優勝から歴史と伝統が始まりました。私たちは、河原小学校自転車部の大会 40 連覇の偉業をたたえ、先人達のこれまでの歩みを再確認し、在校生が未来へと継承していくことを目的とし、この記念誌を編さん発行することになりました。

卒業生は 40 年間で 750 名、ご指導いただいた先生方は 16 名、自転車部員は 240 名以上！携われた方全員の写真や回顧録を掲載すべきでしょうが、何分、自転車部はメジャーな競技でないところから資料や記録が残っていませんでした。そこで、村内在住で連絡の取れる方々にご協力をいただきました。この点は、ご理解いただきます様お願い致します。

この記念誌の発行は今回で一区切りとしますが、10 年後には、河原小学校自転車部半世紀発行（仮）の礎になればと考えます。また、歴代部員の名簿を見てみますと兄弟での受賞を多く見受けれます。平成になりますと二代目（子）の名前が 6 名ほどありました。三代目（孫）の登場もそう遠くは無いことでしょう。

最後に、この記念誌発行にご尽力を賜りました西原村教育委員会、西原村交通安全協議会の皆様、大変お世話になりました。立派な記念誌が出来たと自負しております。

また、実行委員会の中心として活動いただいた自転車部 OB、OG の皆様、小学校 PTA の皆様、古川教頭先生、かわはらんおやじの会の皆様、ありがとうございました。この記念誌発行が起爆剤となり河原校区の活性化、ひいては河原小学校の発展に繋がればと考えます。

大変ありがとうございました。

伝統の持つ力

河原小学校長 合志 正輝

朝から駐車場に設定して屋外コースで自転車の運転技術を磨く子どもたち。だれに言われたからでもなく、その時期が来たら子どもたちは自転車にまたがっています。また、入学式が済んだらすぐに屋内のコース作りに取り組む先生方。担当者の「今から、…」の合図で職員が、当然のごとくみんなで重たい緑のシートを広げ、角やラインを合わせて張り合わせて、着々とセッティングされています。とても自然な流れです。このように、体育館の前半面は、およそ4ヶ月間、1学期の期間中いつでもすぐに自転車の練習ができる状況が確保されています。そして、給食を食べ終わった子どもたちは、食後の休息をとる時間から、自転車の交通法規に関する練習問題に毎回取り組みます。特別なことがない限り続きます。

ところで、自転車部の正規の練習時間は、放課後の4時30分から5時30分の1時間だけです。まず、交通ルールについて学習や練習が2階の一番西側の特別教室で行われ、済んだ者から体育館に移動して実技の練習に取り組むことになっています。この部活動の時間には必ず複数の指導者の先生がついて、一人一人に応じた指導に取り組んでいったりしています。そうしている内にすぐに終了の時刻がやってきて、5時30分からはそれぞれが次の部活に別れます。見ていて淡々とした動きの中でその練習活動が進んでいきます。段々と大会が近づいて来ると、それなりに熱の入りが高まって来ているはずですが、指導する先生たちより児童の方がとても冷静に練習メニューをこなしています。空気を吸うがごとく、水を飲むがごとく、子どもたちにとつては特別なことではなく本当に自然なこと、当たり前のこととしてとらえ、着々とやるべき事に取り組む姿に「ゆとり」さえ感じます。

さて、平成21年6月6日、本年度の天津地区子ども自転車大会は本田技研の体育館で行われました。緊迫した雰囲気の中で、さぞ緊張したかと思えますが、子どもたちは日頃の練習に裏打ちされた自信から周囲の大人たちとは違つて一見落ち着いているようにも見えました。そして、学科試験から大会がスタートしましたが、その問題シートに向かう河原小の子どもたちの姿勢に「伝統の力」のすばらしさがひしひしと感じ取られたのです。たくさんの選手たちが同じように問題に対しての練習をしていますが、河原小の代表8名だけは姿勢が崩れず、何度何度も問題を見直していました。大多数が制限時間をもてあまして、2、30分も残して会場を後にしていく中、与えられた時間いっぱい真摯に問題にあたっている子どもたち。出来る限りのことをやろうとするひたむきな姿勢に、この子どもたちの関係者の一人としてとても誇

らしく思ったことでした。

結果は、個人部門も含め河原小チームの総合力は群を抜き、他を圧倒しての優勝でした。念願の40連勝達成の喜びを皆で分かち合えて本当によかったです。そんな中でも子どもたちは、今日の大会を振り返り冷静に分析して、すでに次の県大会を念頭に反省の弁を述べているのです。とても心強く思ったものでした。

一つの目標に向かって毎日こつこつと自分出来る練習を出来るように取り組み、当日も精一杯尽くすという態度を形成したのは、紛れもなく先輩方が黙々と練習に取り組む姿勢を今の子どもたちに示し続けていただいたおかげです。これこそが伝統であり、何より得難い人間性を獲得できるということを証明してくれています。継続はほんとに力となし得るのですね。

後輩となるまだまだ小さな子どもたちも、また、この河原小学校自転車部のよき伝統を、今後も当然のこととして受け継ぎ、未来を切り拓く確かな力の礎となる本物の自力として身に付けていくてくれることでしょう。その期待を込め、みなさんで40連勝の偉業を喜びましょう。

祝辞 平成21年度PTA会長 東 浩治

交通安全子供自転車大会熊本県予選天津地区40連勝おめでとうございます。この記念誌が発刊されますことは、小さな学校の大きな偉業です。本校の歴史と伝統、多くの実績を確認し、次の世代への橋渡しとなる、重要な役割を持った、意義深いものと思います。現在、快適な環境で児童がのびのびとした学習に励んでおりすが、40年の間には、沢山の苦難がありこれを乗り越え、今回の偉業に繋がったのではないのでしょうか。

又、この偉業のためご協力いただきました、学校、先生方、地域の先輩方に対して、PTAを代表して、心より感謝申し上げます。私たちPTAも、家庭と学校が一体となり、児童の健全な育成を願います。今後とも一層のご指導いただきますようお願い申し上げます。

最後に、この記念誌発刊にあたり、ご寄稿いただいた各位、編集にご尽力されました方々、学校長をはじめ諸先生がた、児童の皆さん、地域の先輩の方々、並びにPTA役員のみなさんに対し、深く感謝申し上げます。